

4. 学部・研究科教育活動報告

4.1. PBL (Project Based Learning)

【PBL 概要】

PBL (Project Based Learning) は、学生の自主的研究活動・創造活動を促進するために、学生が主体となる研究プロジェクトを支援するためのプログラムである。プロジェクトの実施にあたり、学生達が自助努力して解決するものである。期間終了後に学外を含めて成果報告を行わなければならない。PBL の成果をもって学外に発表を行うことで、PBL が大学院修了要件である SPA (Software Practice Approach) としても認定を行うものである。また、研究内容によっては、学部および大学院の学位論文研究に移行することも可能である。平成 16 年度より開始し、今回で 9 年目となる。

PBL の目的はチームでプロジェクトを実現するために作業分担を行い、問題を解決していく経験をさせることである。また、問題発見能力を養い、困難を克服する執着心を養うとともに成功体験をさせることで、教育的効果を求める。このため、課題は教員が与えるものではなく、学生自身で課題を設定しなければならない。

PBL の応募要件としては、2 名以上でチームを構成し、プロジェクト概要、必要な経費そしてプロジェクトメンバーのそれぞれの役割分担を明確にした計画書を提出することである。このときのプロジェクト代表学生は、ソフトウェア情報学部またはソフトウェア情報学研究科の学生に限定する。プロジェクトメンバーについては、岩手県立大学の学生であれば、学部等は不問。ただし、当該学生の指導教員の許可を得る必要がある。なお、一人の学生が、代表となれるプロジェクトは、1 件のみである。

PBL におけるプロジェクトの実施にあたり、各プロジェクトに最高 50 万円までの物品の購入を認める。なお物品については、基本的には貸し出す形をとり、消耗品を除き、プロジェクト終了後に返却を求める。

【申請課題】

平成 24 年度の PBL 申請プロジェクト名は以下の 20 件である（途中辞退の 1 件を除く）。

番号	代表者	研究室	副代表者	タイトル
PBL2012-1	張 偉	ゴウタム	加藤 久輝	ロボットを用いた店舗の商品管理システムの開発
PBL2012-2	斎藤 慎弥	村田	呉 佳超	コーディネート相談システムにおける洋服の重ね着表現機能の開発
PBL2012-3	菊池 大悟	ゴウタム	田頭 哲大	指圧を用いた個人認証の提案
PBL2012-4	澤村 誠	石亀	須田 剛裕	交通標識認識システムの実装
PBL2012-5	羽澤 秀和	澤本	五百川 貴史	画像認識を用いた麻雀におけるゲーム進行のリアルタイム取得の考察
PBL2012-6	金森 一樹	高田	與那嶺 論宏	プレイヤー支援を目的とした麻雀におけるカメラを用いた手牌の自動認識
PBL2012-7	吉田 優介	高田	成田 匡輝	生体センサを用いた不快な発言の分類
PBL2012-8	奥津 翔太	IS	藤井 宏平	みんな健康になろうよ。プロジェクト
PBL2012-9	中島 裕聡	IS	紺野 和磨	ソーシャルメディアを用いた e ポートフォリオの構築

PBL2012-10	人見 澄	IS	大橋 洋平	タブレット端末を利用したアパート紹介システム
PBL2012-11	古舘 昌伸	IS	菅原 遼介	ご当地検定用質問支援システムにおけるユーザの利用率向上に向けた機能開発と環境
PBL2012-12	菅原 遼介	IS	菅原 僚	地方都市における交通弱者支援を目指すサービス「タクシーア」の開発
PBL2012-14	加藤 大樹	村田	高谷 拓磨	初心者でも使いやすいスマートフォンホーム UI の開発
PBL2012-15	井上 裕之	IS	星 遼平	講義出席率向上を目的としたアプリケーションの開発
PBL2012-16	堀口 祐耶	阿部	坂本 大介	災害利用を想定した GIS を用いた位置管理による所在地確認システム
PBL2012-17	鈴木 吉輝	澤本	佐藤 静香	アドホックネットワークを用いた仮想店舗出店システムの構築
PBL2012-18	田村 佳菜子	IS	古舘 昌伸	オリエンテーリングにおけるマップ作成支援システムの開発と評価
PBL2012-19	今淵 祥平	小方	遠藤 順	物語自動生成システム「いわての民話 KOSERUBE」第2版の開発
PBL2012-20	栗澤 康成	小方	小野 淳平	物語自動生成システム「物語の森」第2版の開発
PBL2012-21	鳴海 司朗	石亀	高橋 仁基	複数の言語に対応した動画音声検索システム

【成果発表会】

PBLとして取り組んだ内容を学外者に向けて公開し、説明することを通して、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力の向上をはかるために成果発表会を設けた。ここで、学外者からの評価や意見を受けることで、多様な観点を知り、より広い視野を学ぶことができる。

日時	平成 25 年 2 月 15 日 12:55 から 16:30
会場	アイーナキャンパス学習室 1, 2, 3, 4, 5
発表方法	ブースを設置してのポスターセッション。各ブースにパネル（幅 90cm×高さ 210cm 程度）1 枚、机と椅子、および電源を用意した。
発表数	20 件
プログラム	12:55 開会式 挨拶：渡邊研究科長 13:00 発表開始 全 20 件のポスターセッション （15:50 評価シート提出締めきり→集計作業） 16:00 発表終了 16:20 閉会式 表彰状授与・副賞進呈・講評：羽倉研究科教務委員会副委員長 （全体進行：市川）

当日の様子



【参加者】

本学教職員	8名
学生	56名
企業	12名
合計	76名

キャリアセンター（および地域連携コーディネータ）の協力を得て、県立大サポーター企業に呼びかけ、地元11社に参加いただいた。

【投票結果】

投票は企業と教員が研究内容やプレゼンテーションを総合的に判断し、上位3プロジェクト、学生が上位2プロジェクトに投票して集計した。企業と教員の投票で最優秀賞と優秀賞を1件ずつ、学生の投票から優秀賞を1件選定することにした。

- ・最優秀賞：PBL2012-12
- ・優秀賞：PBL2012-17
- ・優秀賞：PBL2012-21